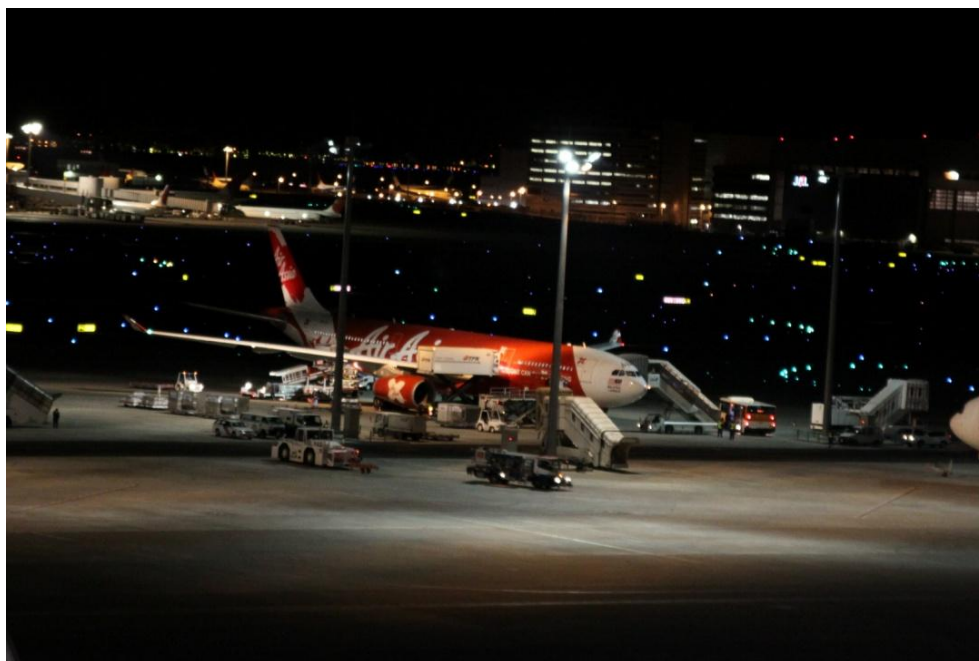


第2話 いよいよ機内へ

羽田では地上業務を ANA の関連会社に委託しているため、搭乗券は ANA のものを使用している。搭乗券には搭乗開始時刻が 23 時 00 分とある。さてさて搭乗までの 2 時間をどう過ごすかが問題だ。KUL にいる友人に追加の手土産でも買うこととして 4 階の物販店に足を運んだところ、どの店も 21 時で閉店しているのではないか。深夜発便のある 24 時間空港のはずなのにこれでは少々興ざめである。

搭乗時刻に遅れないよう早めに出国手続きに進んだ。この同じ時間帯に出発する便は、ANA と JAL のシンガポール行き、JAL とハワイアン航空のホノルル行きの 4 便あるが、出国検査場はスムーズに手続きが終了できた。今日の AirAsia X は沖止めなので搭乗ゲートは 134 番という 1 階のバスラウンジだ。搭乗開始時刻の 23 時ちょうどに行くと、既にバスへの案内が始まっている。バスが走り出すとすぐに夜間照明に照らされた真っ赤な塗装の A330-300 が目に飛び込んできた。今日の搭乗機は 2009 年 12 月に製造、納入された機体だ。



照明に照らされた赤い機体は目立つ存在

タラップを上がって機内に入ると、まず気が付くのが機体と同じ赤と白のインテリアの明るい色調だ。既存の航空会社はどちらかと言えばシックな落ち着いた色のある色で機内をまとめるのに対して、このポップな色使いは対照的な存在だ。

あらかじめ予約をしておいたキャビン後部の左側 50A に座る。座席は革張りで、ホール

ド性もなかなか良い。LCCはより多くの乗客を乗せるため、座席間隔(シートピッチ)が狭いのではないかとのコメントが多いが、シートピッチは31インチで、日本の大手航空会社のエコノミークラスのそれとかわらない。なにより気になるのはヒザ前の間隔だろう。そこで今回の旅では3つの航空会社の座席前縁から前席のシートポケットまでの間隔を実測してみた。まずはAirAsia Xはというと25~26cmで、身長165cmの筆者にとって苦勞なく足を組むこともできた。一方で横方向を見ると、通常このA330では2-4-2配列の8席のところ、3-3-3配列の9席になっている。座席幅(アームレストの内側)は43cmだった。こちらは日本の国内線と同等の幅だ。私にとって窮屈感はないが、身体の大きな外国人には長時間のフライトでは少々きついかもしれない。結局KULまでの7時間40分は疲れることなく過ごせた。

ところで、私の隣の席は友人と一緒にマレーシアから日本に観光に来たという学生だった。いわゆるバックパッカーのようで、9日間の予定で大阪、京都、奈良、箱根、東京と回ったそうだ。国内の移動は新幹線の割引切符を利用したとのこと。更に彼が嬉しそうに話していたのは、ユニクロで買い物をしたことだそうで、ユニクロの大きな紙袋を機内に持ち込んでいた。(あとで分かったのだが、最近ユニクロはKULの目抜き通りに出店している)



足元はこんな感じ … 全く狭くない



次に座席ポケットの内容を見てみた。「安全のしおり」、「飲食メニュー」、「機内販売カタログ」の3種類がセットされているが、どれも相当使い古した物だ。多少の汚損があっても使い続けるのもLCC流だ。

機内食のメニュー

機内誌を含めて座席ポケット内の物は持ち出し禁止

そうこうしている内に全員の搭乗が終了。機内に空席はほとんどなく満席に近いようだ。23時48分、プッシュバック(トラクターで機体を後ろへ押し出す)開始。定刻通りの出発だ。離陸は昨年10月に供用を開始したD滑走路を使用する。エンジン音が大きくなるにつれて機体は加速して00時04分に離陸、機体は上昇を続けながらゆっくり右旋回して機首を南に向けた。

離陸から30分ほどでシートベルトサインが消えた。



ワイドボディーに赤と白を基調とした機内

機内ではCA(男性×3名、女性×6名内、日本人1名)がマレーシアの入国カードの配布を開始した。次に Comfort Kit という毛布、空気枕とアイマスクのセットの販売だ。私は便の予約と同時に機内食(事前予約 700 円、機内販売は 900 円)とこの Comfort Kit(事前予約 1,000 円、機内販売は 1,500 円)の事前購入予約をしてある。CA は最初に事前予約している旅客の下に座席表を見ながら配布している。私のところに持ってきてくれたのは唯一の日本人 CA だった。どうやら日本人旅客には日本人 CA が配布することになっているらしい。配布に際しては搭乗券を見せて欲しいと言われ、CA に渡すとボールペンでチェックマークを付けている。ここで搭乗券についての謎が解けた。搭乗券の右下にアルファベットの A と M というシールが貼られていたのだが、A は Comfort Kit を予約している人。M は Meal(食事)を予約していることを証明するためのものらしい。

(続く)



謎だった搭乗券に貼られた
「A」と「M」のシール

Comfort Kitはこの形状で配られる

